

十二神社とともに未来に渡って北八朔を見守り・支え続ける自治会館

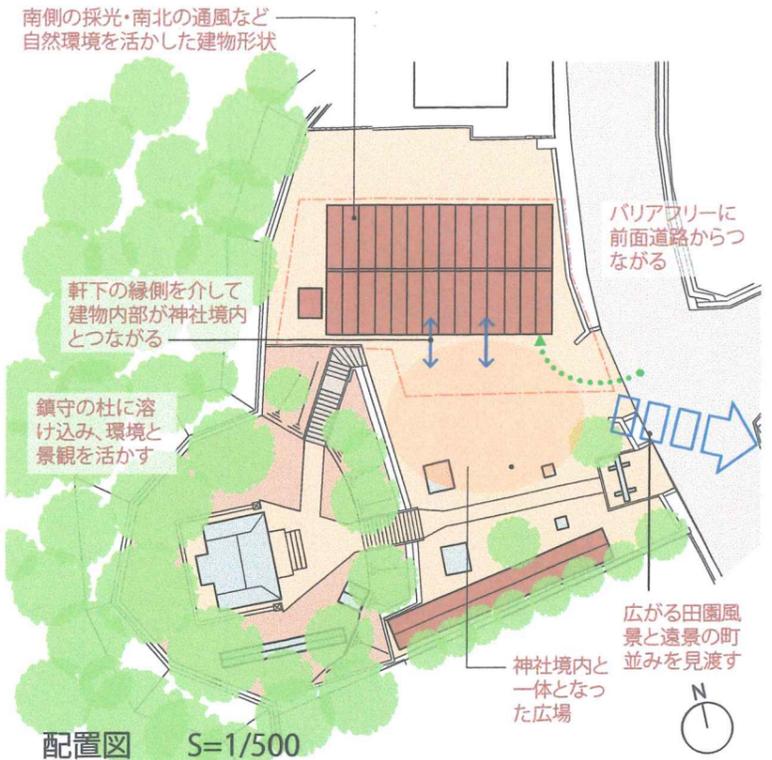
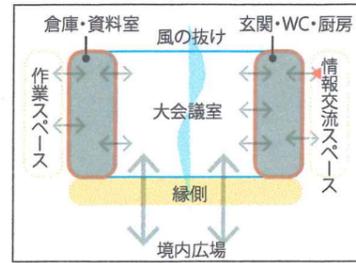


設計コンセプト

十二神社の境内に面して大きな庇と縁側を設け、地域を見守り続けてきた大木に囲まれた鎮守の柱に溶け込む地域コミュニティの場をつくり出します。どんと焼きなどの祭りや盆踊りなどのイベント時には境内と一体となって、地域の方々がより一層気持ちよく参加できる使い方ができます。建物内部は、大会議場を中心に配置し、大人数でも、少人数でも使いやすく、縁側を介して地域に開かれた交流をつくります。通風や採光などの敷地の自然環境や遠景に町並み見通すことのできる前面に広がる田園の景観を活かすとともに、換気や断熱、防音、バリアフリーなどの建物性能を確保し、地域の方々の交流や健康を後押しし、末永く愛される自治会館を建築します。

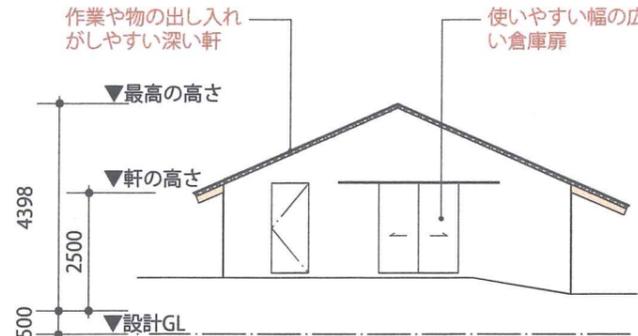
安心安全で使いやすい諸室配置

両側に壁の多い部屋（機能コア）を配置することで、構造的に強く、非常時の避難所としても安心安全な建築とします。中心となる大会議室は、南側に大きく開き、天井が高く明るい空間で、境内広場と縁側を介してつながります。厨房や倉庫などの諸機能が面して使いやすく、南北に風が自然と通り抜ける換気性が良く、心地のよい空間です。道路や周辺からの音を遮断して静かさを確保します。東西側外部の軒下も作業スペースや掲示スペースなど有効に活用します。



十二神社とつながりのびのびとした利用を可能とするともに、みどり・景観・微地形などの周辺環境を活かします。

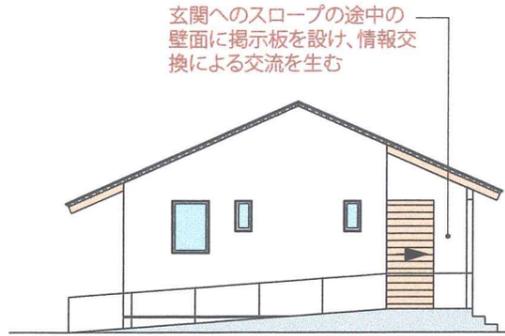
適材適所の合理的な構造
東西コアにバランスよく壁（耐震要素）を配置し小屋を組む。大会議室はトラスを組み流通材大きなスパンの屋根を構成する。梁を継ぐことで6m流通材で構成し合理的で安全な構造とする。



西側立面図 S=1:150



南側立面図 S=1:150



東側立面図 S=1:150



断面図 S=1:150



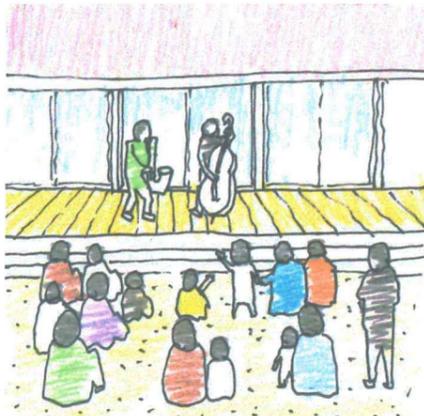
境内広場から見た自治会館の全景



境内広場とつながる広い軒下の縁側



境内広場の様子が見える広い大会議室



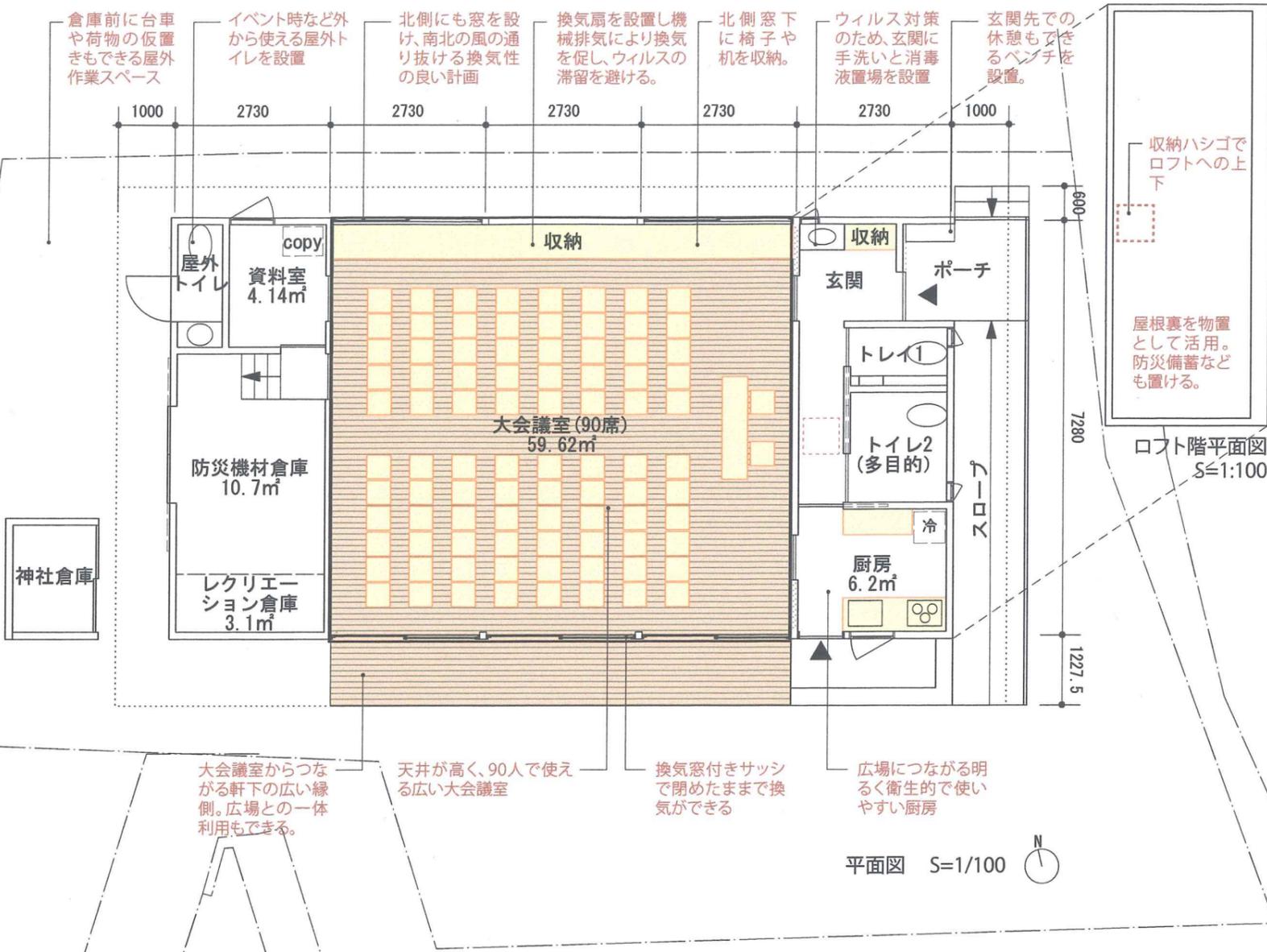
広場と一体利用
境内広場とつながる軒下の縁側が自治会の新しい交流を生み出します。広場のステージとしても利用できます。



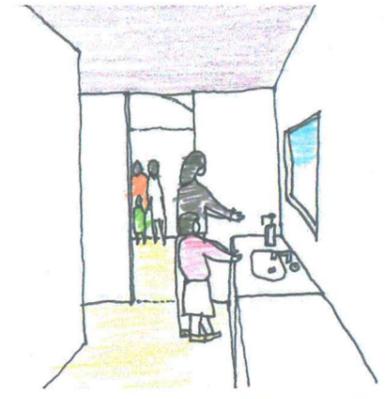
倉庫前の作業スペース
軒下で幅広の扉とゆとりのある作業スペースを設けます。スペースにゆとりのある使いやすい倉庫と屋外トイレです。



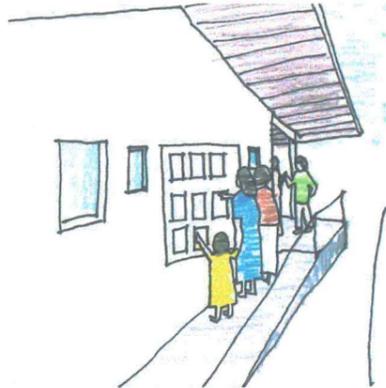
広場のような会議室イベント
境内広場の様子がよくわかる、視覚的にも広場とつながる広い会議室になります。



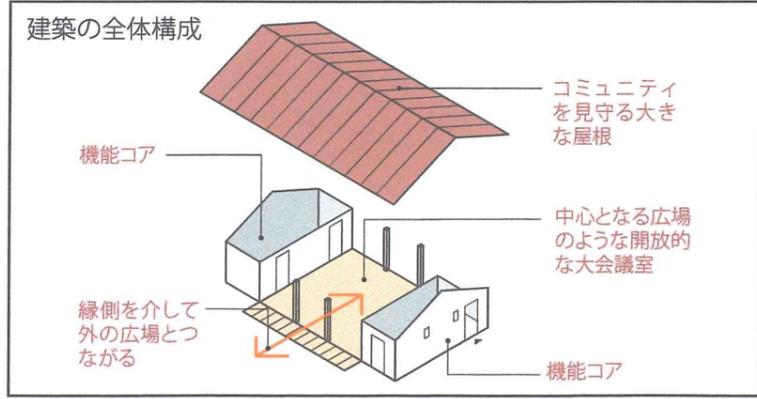
みんなでウイルス対策
手洗い、消毒、換気に加え、ウイルスの残存しにくい素材を手摺等に採用するなど、自治会みんなでウイルス対策もできます。



掲示板で情報交流
スロープでアクセスする広々とした玄関壁面の掲示板で交流を生み出します。



外でみんなで食事
外ともつながり、多様な使い方ができる厨房は広場でのイベントにも対応できます。



面積表

敷地面積	262.68m ²
建築面積	105.00m ² (建蔽率39.9%)
本体	102.00m ²
神社倉庫	3.00m ²
延床面積	105.00m ² (容積率39.9%)

主な仕上げ
屋根:ガルバリウム鋼板葺き
外壁:サイディング貼り
内壁:ビニルクロス貼り
床:長尺フローリング

概算の総工事費
本体工事費:1,960万円
設備工事費:490万円
設計・監理費:270万円
消費税(10%):272万円
総工事費:2,992万円

